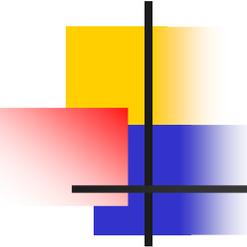


# Abstraction parameterをはかる ための手がかかり

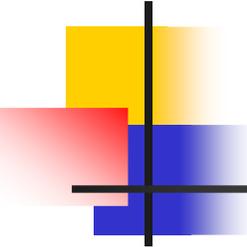
- ある程度基本レベルの語彙の区別が大雑把。したがって類別詞の拡張が激しい。また「点」や「件」のような異なった種類のものを数える類別詞が存在する。
- 展示品は絵画が3点、彫刻が5点、陶磁器が4点の計12点です。
- Heterogeneous collectionは数えにくい。  
(Wierzbicka 1985 “Oats and wheat: the fallacy of arbitrariness,” in J. Haiman ed. *Iconicity in Syntax*. John Benjamins.  
Reprinted in Wierzbicka, Anna (1988) *The Semantics of Grammar*. John Benjamins.)



# 計数と注意の関係の原則 (Counting Requires Careful Attention)

---

- 説明すべき現象
- 「つぶ」はひとまとまりの集合の一部を数える場合に用いられる。(伊藤紀子(2004)「形状類別詞「粒」の用法とまとまり性」 西光義弘・水口志乃扶編『シリーズ言語対照3 類別詞の対照』くろしお出版)
- マス的なものに用いられる「本」 麺類、髪の毛
- これらの物質はある程度マス的であるので、数えるということはかなり特殊な事態といえる。



# Abstraction Parameterの4段階

---

- 英語：類別詞がなく、数を持つ。:Degree 4
- ネパール語：類別詞と数を持つ。:Degree 3
- 日本語：類別詞を日常では細かく区別しない。:Degree 2
- 中国語、タイ語、ビルマ語：類別詞の区別が細かい。:Degree 1